

患者さん向け  
ダイアベティス(糖尿病)に関する情報提供サイト

[www.diabetes.co.jp](http://www.diabetes.co.jp)



日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口 (一般の方・患者様向け)

0120-245-970 <sup>※1</sup>

078-242-3499 <sup>※2</sup>

<当社製品に関するお問い合わせ> 受付時間:月曜日～金曜日 8:45～17:30 <sup>※3</sup>

<当社注込器に関するお問い合わせ> 受付時間:月曜日～土曜日 8:45～22:00

上記時間以外は音声ガイダンスにて対応しています。

<sup>※1</sup> 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。尚、IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。

<sup>※2</sup> フリーダイヤルでの接続が出来ない場合、このお電話番号にお掛けください。尚、通話料はお客様負担となります。

<sup>※3</sup> 祝祭日および当社休日を除きます。

医療機関名

*Lilly*  
A MEDICINE COMPANY

日本イーライリリー株式会社

PP-LD-JP-1092 2025年7月作成

ダイアベティス(糖尿病)のある人向け

# ダイアベティス(糖尿病)の 食事療法と運動療法

— 無理なく続ける治療のポイント —

監修

せいの内科クリニック 院長

太田総合病院附属太田西ノ内病院  
運動指導室 室長

清野 弘明 先生

星野 武彦 先生



*Lilly*  
A MEDICINE COMPANY

## はじめに

食事療法と運動療法はダイアベティス(糖尿病)治療の基本です。特にダイアベティスの大部分を占める2型糖尿病の発症は、食べすぎや運動不足などの生活習慣も関係しています。そのため、食事療法と運動療法を正しく行い、生活習慣を改善すればダイアベティス治療に対する効果が期待できます。自分の病状に合った食事療法や運動療法を毎日の生活にとり入れ、生き生きとした人生を送りましょう。

## 目次

### 食事療法を行うコツ

なぜ食事療法が必要なの? .....	1
ダイアベティス(糖尿病)食は健康長寿食 .....	2
血糖値を上げにくくする食べ方のコツ .....	4
外食時のメニューの選び方 .....	5
お酒を飲んでもいいですか? .....	6
間食をとってもいいですか? .....	7

### 無理なく続ける運動療法

なぜ運動療法が必要なの? .....	8
主治医とよく相談する .....	9
効果的な運動療法のコツ .....	10
自分に合った運動をする .....	12
日常生活の中の運動療法 .....	14

### クロスワードパズルにチャレンジしてみよう! 16



## 食事療法を行うコツ

### なぜ食事療法が必要なの?

食事療法は、運動療法、薬物療法とともにダイアベティス治療の3本柱の1つです。なかでも食事療法はダイアベティス治療の土台であり、インスリン注射をしている人でも飲み薬を服用している人でも、必ず行う必要があります。というのも、薬の量は食事療法が守られていることを前提に決められています。そのため、食事療法がおろそかになると、薬の効き目が強く出たり弱かったりと、血糖値が安定しなくなります。薬の効果を維持するためにも、きちんと食事療法を続けましょう。



# ダイアベティス(糖尿病)食は健康長寿食

ダイアベティスの食事療法では食べてはいけない食品はありません。ダイアベティス食は、いわば健康長寿食です。

1日に必要なエネルギー量を理解し、炭水化物、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラルを過不足なくとることが大切です。そのためには、積極的に食品交換表を利用して栄養バランスのとれた献立にしましょう。

そして、バランスのよい栄養摂取を心掛け、バラエティーに富んだ食生活をしていきましょう。

なお、1日に必要なエネルギー量は患者さんによって異なりますので、主治医と相談して決めましょう。

## 食事療法の3カ条



適切なエネルギー量の食事をとる。

1日30品目以上。

食事は1日3回、規則正しくとる。

●自分の必要なエネルギー量について主治医と相談してみましょう。

必要エネルギー量記入欄

私の1日に必要なエネルギー量は  
 キロカロリーです。

サイド  
メモ

## 食品の分類の仕方

日本糖尿病学会発行の「糖尿病食事療法のための食品交換表」では、日常的に食べている食品を栄養素の種類から6つの食品グループ(6つの表)に分けています。ぜひ食品の分け方を覚えましょう。

表1:いも、ごはんなどの主食



表2:フルーツ



表3:魚、肉、大豆、チーズ、卵



表4:ヨーグルトなどの乳製品(チーズを除く)



表5:油類、油を多く含む食品



表6:野菜類



## ●調理のコツ

### 食物繊維をたくさんとる。

食物繊維が多く含まれる根菜類などは、低カロリーで、しかも空腹感を満たしてくれます。また、腸からの炭水化物の吸収を遅らせたりすることから、血糖値の急上昇も抑えます。1日に20~25gの食物繊維をとることが望ましいとされています\*。野菜は1日350g以上、100gの目安としては、生野菜は両手いっぱい、温野菜は片手いっぱいくらいです。

### 肉類の脂肪をとり除く。

肉類は煮る、蒸す、網で焼くことで余分な脂肪をとり除くことができます。



\*日本糖尿病学会発行「糖尿病食事療法のための食品交換表」

### 料理に用いる油には植物油を。

動脈硬化予防のため、不飽和脂肪酸を多く含む植物油(サラダ油、オリーブ油など)を使用しましょう。ただし、質のよい油も含めて、油は1g=9キロカロリーと、カロリーが高いため、とりすぎには注意しましょう。

### 食塩の量を減らす。

減塩醤油や減塩みそを積極的に利用したり、醤油や食塩の代わりとして味付けにレモンやゆずを利用しましょう。

## 血糖値を上げにくくする食べ方のコツ

食後に起こる急激な血糖値上昇はダイアベティス(糖尿病)のある人にとって好ましいことではありません。しかし、食事の方法を少し変えるだけで、食後の血糖値を上げにくくすることができます。ぜひ習慣として毎日の食事にとり入れましょう。

### Point 1 ポイント

#### よく噛んで、ゆっくり食べる。

早食いをすると糖質が急激に吸収されてしまうので、ゆっくり食べるようにしましょう。また、よく噛むことで満腹感を感じやすくなります。野菜から先に食べるとよいでしょう。



### Point 2 ポイント

#### 1日3食、規則正しくとる。

食事抜きはまとも食いになりやすく、遅い食事は次の食事までの間が短くなり、ともに血糖値が上がります。

できるかぎり、1日3食、規則正しくとるようにしましょう。



### Point 3 ポイント

#### 1回の食事量はバランスよくとる。

1日3食をとっても、1回の食事量が多いと血糖値が上がります。できるかぎり、1回1回の食事はバランスよくとりましょう。



## 外食時のメニューの選び方

外食は、エネルギー量のとりすぎにつながりやすく、栄養バランスにも偏りがみられます。普段、家で食べている食事の素材や量、調理法などによるエネルギー量との違いを覚えておき、外食する際には、エネルギー量をとりすぎないように注意しましょう。

### ● 外食を選ぶ時の注意

#### 肉料理より魚料理を選ぶ。

魚料理は肉料理より不飽和脂肪酸を多く含んでいます。動脈硬化予防のため、魚料理を選びましょう。



#### 一品料理より定食を選ぶ。

栄養バランスのとりにやすい定食などを選びましょう。一品料理の場合は、野菜サラダを追加するようにしましょう。



#### 洋食や中華より和食を選ぶ。

洋食や中華料理は油を多く使います。油をあまり使わない和食を選ぶようにしましょう。



参考:日本糖尿病学会発行「糖尿病食事療法のための食品交換表」による表3の食品(魚介、大豆製品、卵、チーズ、肉など、たんぱく質を多く含む食品)の1単位

- ・チーズ 20g(1個)
- ・豆乳 160mL(コップ軽く1杯)
- ・ゆで大豆 40g(大さじ3杯)
- ・きなこ 20g(大さじ3杯)
- ・ゆで卵 50g(1個)



## お酒を飲んでもいいですか？

少量のお酒は食欲を増進させ、ストレス解消に役立ちます。しかし、お酒によって自制心がゆるみ、飲みすぎ、食べすぎとなることもあるので、お酒は糖尿病患者（糖尿病）のある人にとって好ましくない食品です。また、経口血糖降下薬の服用やインスリン注射をしている人が糖質を含む食事をとらずに飲酒した場合、低血糖が起こりやすくなります。

いずれにしても、お酒については主治医とよく相談し、そのアドバイスを必ず守りましょう。



### 飲酒に十分気をつけましょう。

1

少量※:1~2単位\*  
(80~160キロカロリー)にとどめる。

#### 1単位の目安

ワイン100mL  
(ワイングラス  
約1.5杯)



日本酒75mL  
(約0.4合)



ビール200mL  
(大瓶約1/3本)



2

毎日は飲まない。



※アルコールをどれくらい飲んでよいかは、患者さんによって異なります。必ず主治医にご確認ください。

\*「糖尿病食事療法のための食品交換表」による

## 間食をとってもいいですか？

間食は、1日の必要エネルギー量(P2)の範囲内で、午後3時ごろにとるようにしましょう。夕食後の間食は、夜間の血糖値を上げる原因となるため、お勧めできません。また、血糖値を急上昇させやすいスナック菓子やチョコレートなどのお菓子は避け、牛乳や果物を適量とるように心掛けましょう。それでも、どうしてもおなかが空いて困るときはカロリーが低く満腹感が得られやすい食品をとるようにしましょう。なお、患者さんによっては間食の条件が異なります。あらかじめ間食については主治医とよく相談しておきましょう。

高齢者において、1回の食事量が少ない場合の間食については、午後3時ごろにたんぱく質を多く含む食品(P5)をとるのをおすすめします。

### 【おなかが空いてしまったら…】

- ノンカロリーの食品を利用する
- 野菜スティックを食べる
- お茶を飲む

### 間食をとる場合は次のことに注意しましょう。

1 間食は1~1.5単位\*(80~120キロカロリー)を目安にとる。

牛乳180mL  
(コップ約1杯)



全脂無糖ヨーグルト180g  
(小カップ2個程度)



バナナ中1本



2 間食は午後3時ごろにとる。

3 スナック菓子などを避け、牛乳や果物をとる。

※間食の指示量は患者さんによって異なります。必ず主治医にご確認ください。

\*「糖尿病食事療法のための食品交換表」による

## 無理なく続ける運動療法

# なぜ運動療法が必要なの？

運動療法は食事療法と組み合わせることで、より大きな効果が期待できます。運動は、血液中のブドウ糖を消費して血糖値を下げる、肥満を解消して筋肉などでのインスリンの働きを高める、血液循環を盛んにして血管の老化を防ぐなどの効果があります。ただし、患者さんによっては運動を制限しなければならない場合もありますので、運動療法を始める前に主治医とよく相談しましょう。



# 主治医とよく相談する

どのような運動をどの程度すればよいかは、個々の患者さんの年齢、合併症の有無、運動能力などを考慮して決められます。運動を始める前に、病院できちんと検査を受け、主治医や運動の支援者に適切なアドバイスを受けるようにしましょう。



## 運動をしてはいけない人の例

えそ  
足に壊疽のある人。

血糖値が著しく高く、  
血糖管理が不十分な人。

心筋梗塞や狭心症などの  
心臓病を患っている人。

進行した糖尿病性腎症(腎不全)  
を患っている人。

重い神経障害(手や足に強い  
痛みやしびれ)がある人。

増殖性網膜症を患っている人。  
(眼底出血を起こしやすい)

感染症(発熱やだるさ)を  
患っている人。

## 効果的な運動療法のコツ

食事療法と同様、運動療法も継続してこそ効果が上がります。自分に合った運動を週3~5回のペースで継続しましょう。運動中は苦痛がなく、おしゃべりができ、少し汗が出る程度の運動量が理想です。体調が悪く感じたり、天候がよくない時などは、無理をせずに運動を中止、延期しましょう。



### ● 運動する時はこのようなことに注意しましょう。

気温や天候など、環境に合わせた運動に適した衣類・ウォーキングシューズを選ぶ。



運動の前にウォーミングアップ（ストレッチなど）を行う。



こまめに水分補給をする。



インスリンや飲み薬で治療中の方は、低血糖対策として砂糖\*やブドウ糖を常に携帯する。



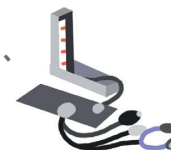
\*α-グルコシダーゼ阻害薬を服用している場合は、砂糖ではなくブドウ糖をとるようにしましょう。

### ● こんな日は運動を休みましょう。

血糖値が高く、尿にケトン体が出ている時。



血圧がいつもより高く、自覚症状のある時。



脈が途切れたり、不規則になっている時。



体調の悪い時、かぜなどの病気を患っている時。



極端に暑い日や寒い日。



### ● こんな場合はすぐ運動を中止しましょう。

低血糖症状が現れた時

動悸	めまい	脱力感	空腹感
頭痛	冷や汗	吐き気	しびれ

足首、ひざなどの関節に異常を感じた時。



# 自分に合った運動をする

ダイアベティス(糖尿病)の運動療法として勧められるのは、ウォーキング、ジョギング、水泳などの運動です。「いつでも」、「どこでも」、「無理なく続けられる」運動を選びましょう。運動療法は、食後に行くと血糖値の上昇が抑えられ、より効果的です。

## 100キロカロリー消費する運動と時間(体重60kgの場合)

### 軽い運動

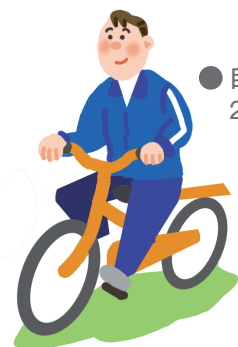


● 軽い体操  
30分前後



● 軽い散歩  
30分前後

### やや強い運動



● 自転車(平地)  
20分前後



● ウォーキング(速歩)  
25分前後

### 強い運動



● ジョギング(強い)  
10分前後

### 激しい運動



● 水泳(クロール)  
5分前後

## ウォーキングを始めてみませんか。 1日1万歩を目指して!!

ウォーキングの理想は「1日1万歩」歩くことです。

しかし、いきなり1日1万歩を目標にすることは、勧められません。

最初はいつもより1000歩増やすことを目標に、ウォーキングを始めましょう。

慣れてきたら徐々に歩数を増やし、1万歩に近づけていきましょう。

### ウォーキングをもっと楽しく!

- 無理な目標は立てない。
- 気の合った人と一緒に歩く。
- 歩数計を上手に使う。
- 心地よいと思える時間帯に歩く。
- 複数のウォーキング・コースを持つ。
- ウォーキング用のシューズを用意する。



# 日常生活の中の運動療法

忙しくて運動する暇がない人でも、ちょっとした工夫で日常生活内に運動を取り入れることができます。

日々の生活において、体を動かすことを心掛けるようにしましょう。



主婦A子さんの場合



## 洗濯物を干しながら

背中を曲げずにひざを曲げ伸ばししましょう。

## 掃除をしながら

掃除機の本体を持ちます。掃除機を持った手のひじを高く上げるよう意識してみましょう。左右交互に行います。



## 窓ふきをしながら

ひじの曲げ伸ばしを意識して窓をふきます。曲線を描くのではなく、直線的にふぎましょう。

## テレビを見ながら

両足を軽く曲げ、床から持ち上げましょう。



起床

お昼

夕食

就寝



会社員Bさんの場合

## 通勤途中に

ホームでの待ち時間に、ただ電車を待つだけでなく、かかとを上下に上げ下げしてみましょう。体重は両足のつま先に均等に乘せます。



## パソコンを使いながら

軽く背中を丸めて腹筋を使うよう意識します。



## 帰宅時に

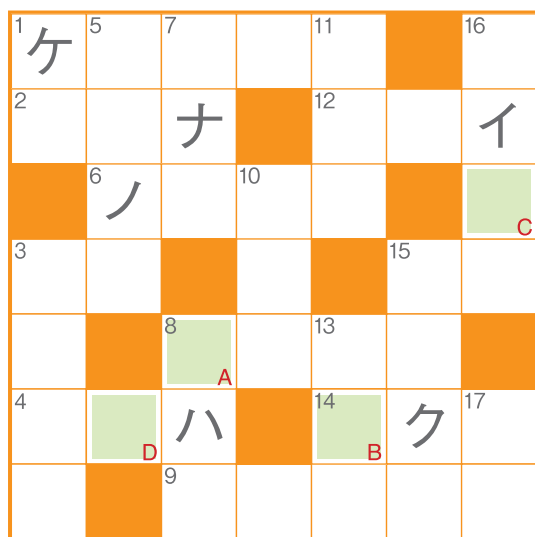
帰りはバスや電車を1つ手前の駅で降りて歩くよう、心掛けましょう。

## テレビを見ながら

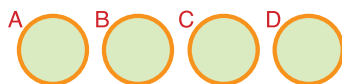
床に座り、両手を体の後ろでつきます。ひじを曲げて腕に体重をかけ、体を支えます。



# クロスワードパズルにチャレンジしてみよう!



ダイアベティス(糖尿病)について、パズルをしながら復習してみましょう。  
クロスワードを完成させて、A~Dをつないでください。



## → ヨコのカギ

- 食後に上がります。ダイアベティスのある人は \_\_\_\_ が高めです。
- ダイアベティスのある人には、お肉よりも海の幸である \_\_\_\_ がお勧め。DHAも豊富。
- 足の速い動物。桜肉ともいわれる肉は、牛肉よりも低脂肪・低カロリーです。
- 1冊の本を最後まで読み切ること。ダイアベティスについて学ぶために、このダイアベティスってどんな病気?小冊子を最後まで \_\_\_\_ しましょう。
- \_\_\_\_ にも使われるカンピョウは、食物繊維が豊富なのでお勧めの食品。
- そんなに怒ると \_\_\_\_ が上がっちゃうよ。高 \_\_\_\_ は万病の元、注意しましょう。
- ダイアベティス治療で打つ \_\_\_\_ の注射は痛くないので大丈夫。
- 悪い \_\_\_\_ は、脊椎のゆがみや内臓への圧迫をもたらし、健康によくありません。ダイアベティスの治療にも、正しい \_\_\_\_ で向かい合いましょう。
- 戦いのこと。免疫機能は、体内の病原体や有害物質との戦いを繰りひろげています。ダイアベティスは免疫を低下させ感染症を引き起こすこともあります。
- 薬物療法をしている人は低血 \_\_\_\_ 症状に注意しましょう。

## ↓ タテのカギ

- \_\_\_\_ の目ざめはさわやかでしたか?十分な睡眠をとる規則正しい生活は、ダイアベティス予防のためにもなります。
- ダイアベティス治療のためにウォーキングなどの \_\_\_\_ をしましょう。 \_\_\_\_ 不足は肥満や筋力低下などをもたらします。
- ダイアベティスを誘因させる過度のストレス。ストレスを感じた時は \_\_\_\_ でも休息するのが効果的。
- 不摂生と不健康は \_\_\_\_ 合わせ。規則正しい生活が、ダイアベティスなどの病気の予防に大切です。
- 合併症の1つである糖尿病網膜症はなかなか忍び寄る \_\_\_\_ が感じられません。半年に1度は眼科検診を受けましょう。
- 皮膚の毛細血管を刺激し血行を良くする乾布 \_\_\_\_ 。ダイアベティスが進行すると網膜や腎臓など全身の毛細血管に障害が起きることもあります。
- ダイアベティスに立ち向かうには正しい \_\_\_\_ が必要。医師のアドバイスや説明を聞きましょう。
- 甘くて冷たい \_\_\_\_ クリーム。ダイアベティスのある人は主治医と相談してからとりましょう。
- 日本酒を入れる容器はおちょこと \_\_\_\_ 。ダイアベティスのある人は主治医と酒量を相談して決めましょう。
- インスリンを分泌する臓器。この機能低下はダイアベティスの一因になります。
- 食事は1日 \_\_\_\_ 回、規則正しく、1日30品目以上を心掛けてとりましょう。

